

令和3年第4回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「北総鉄道株式会社における運賃値下げの発表について」申し上げます。

11月19日、先週の金曜日に、北総鉄道株式会社より、「運賃値下げの実施について」表明がありました。

本市における唯一の鉄道として、ともに歩んできた歴史の中で、画期的な出来事となりました。

これまで働きかけを続けてこられた沿線市、並びに関係する皆様のご努力と、北総鉄道株式会社のご英断に深く感謝申し上げます。

特に、通学定期の運賃値下げは、これまで市が強く要望してきたことであり、進学や通学などによる転出の抑制や、子育て世代の転入につながることを期待しております。

この運賃値下げの好機は、コロナ禍にはありますが、市の重点戦略の1つである「若い世代の定住プロジェクト」の推進に、大きく寄与するものと考えています。

市としましては、経営を圧迫しない範囲においての、さらなる普通運賃の値下げはもとより、駅構内のホームドアなど施設整備をはじめとする安全対策にも努めていただけるよう働きかけを続けていくとともに、千葉県や沿線市、北総鉄道株式会社との連携を深め、駅周辺地域の活性化への取組みを進めてまいります。

次に、「新型コロナウイルス感染症の現状について」申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者は、緊急事態宣言解除後、全国的に減少し、11月23日は、全国で113人の感染発表がありました。

当市におきましても、8月は、ひと月で新規感染者が253人に上りましたが、9月は60人、10月は7人、11月は現時点で、0人と大幅に減少している状況であります。

本市の新型コロナウイルスにかかるワクチン接種につきましては、11月22日現在で、対象者の85.7パーセントが2回目の接種を終えております。

3回目となるブースター接種につきましては、2回目接種後、原則8カ月が経過した方が対象となります。そのため、医療従事者等につきましては12月から、市民の皆様につきましては、令和4年2月から、3回目のワクチン接種ができるよう準備を進めているところでございます。

この3回目のワクチン接種におきましても、要介護2以上の方や重度心身障害者の方が、ワクチン接種のために病院まで利用するタクシー代については、これまでと同様に、市独自の助成をおこなってまいります。

また、過去最大の感染者数となった「第5波」では、急激に増加した自宅療養者の支援のあり方が問題となりました。これを受け、市では9月15日に県と「新型コロナウイルス感染症の自宅療養者等に係る連携事業に関する覚書」を結び、安否確認や配食サービス、買い物支援など、市ができる自宅療養者への支援体制を整えました。

これから冬本番を迎え、感染症の流行が懸念されますが、「第6波」を見据え、県や保健所と連携を図りながら市民の命を守る支援を進めるとともに、3回目のワクチン接種についても、市内医療機関と連携を図り、着実に取り組んでまいります。

また現在、国が現金給付等を含む経済対策を検討しているところであり、今議会中にも追加で補正予算案を提出させていただく予定であり、一日も早くお届けしてまいります。

次に、「白井市立池の上小学校 放課後子ども教室の新設について」申し上げます。

市では、全ての児童を対象に、教育的な魅力のある多種多様な体験及び活動を行える機会を提供するとともに、放課後の安全で安心な居場所づくりの一助となることを目的として、市内全ての小学校区で「放課後子ども教室」の配置を目指しております。

これまで市では、平成20年から白井第二小学校、平成26年からは大山口小学校と、「放課後子ども教室」の整備を進めてまいりました。

今年度、新たに池の上小学校において地域の方々の協力を得ながら、事業者委託により令和4年1月から毎週木曜日に「放課後子ども教室」を実施することといたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、1年生児童のみを対象としておりますが、対象学年の拡充につきましても、今後、学校や関係各所と検討してまいります。

子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化しておりますが、引き続き、様々な人との交流により、子どもたちが地域で安心して育つことのできる環境づくりに努めてまいります。

次に、「スクールバスの導入による通学路の安全確保について」申し上げます。

本年6月に八街市で下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷するという大変痛ましい事故が発生し、安全な通学路の整備が喫緊の課題となっております。

市では、関係部署や警察、白井市小中学校PTA連絡協議会等で通学路の合同点検を実施し、点検結果に基づき、計画的かつ継続的に通学路の安全対策を講じているところでございます。しかし、白井第一小学校及び白井第二小学校の通学路は、交通量が非常に多い国道16号線や、歩道、路側帯の幅が狭い木下街道・風間街道などが通学路となっており、整備等の対応が困難な箇所が多いところです。このようなことから、白井第一小学校及び白井第二小学校において、来年4月から、スクールバスを導入することとして、現在、準備を進めているところです。運行ルートにつきましては、対象地区ごとに可能な限り保護者のニーズに合わせたルートを設定し、時刻表についても、各学校の日課に合わせて設定する予定です。また、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間は試行期間とし、次年度以降の運行については、保護者アンケートを行い、各学校の検討委員会

において、検討していくこととしております。

市としましては、毎日利用する通学路において、子どもたちが安心して学校へ通うことができるよう、地域の実情に合わせた安全対策に努めてまいります。

最後に、「『電話de詐欺』の被害防止活動に関する協定締結について」申し上げます。

高齢者を狙った「電話de詐欺」の被害は、年々、手口が巧妙となり、全国的にも社会問題となっております。

市内における高齢者を狙った詐欺被害は、本年、令和3年9月末で、11件、被害額は3千957万円にのぼります。これは、昨年、令和2年の17件、被害額3千171万円という1年間の被害を上回る深刻な事態となっております。

市ではこれまでも、「電話de詐欺」の被害防止のため、印西警察署と連携のもと、市民への広報や啓発活動に努めてまいりましたが、後を絶たない詐欺被害から、市民の皆様を守るため、10月22日に印西警察署と「電話de詐欺」の被害防止活動に関する協定を締結いたしました。「電話de詐欺被害」の被害者の多くは高齢者ですが、被害者をなくすためにも、家族を含め社会全体で対策をとる必要があり、情報共有など、これまで以上に連携・協力していくことを確認したところです。

この協定締結を機に、印西警察署と協働し、「電話de詐欺」の被害防止に向けた活動を一層強化し、市民が安心して暮らせるまちを築いてまいります。